

平成20年度 TA 活動報告書

TA	1 回生	教科教育専攻	保健体育専修
TA 採用教員名	杉山 允宏		
TA 採用授業科目名	運動生理学実習		
採用延べ時間数	授業科目 A : 20 時間、 授業科目 B : 時間		

【TA 活用内容】

1. 各実習の記録用紙の作成
2. 各実習の測定器具・装置の事前確認と実習後の器具・装置の収納
3. 各実習における補助と学生への助言
4. レポート作成要領の学生への助言
5. 実習報告書のとりまとめ
6. 発表会のための、器機の借用手続き及び発表時の補助
7. 発表会終了後、内容修正後の報告書の再作成

【TA 活用による教育的効果】

1. 実習時のやや細かい点の実習生への助言が測定や実験の精度を高めた。
2. TA の実習経験を通じた全体的な行動が、実習の効率を高めた。
3. 実習内容によっては、学生への説明の機会を与えたことにより、学生教育の方法や指導方法などを学び学生の前に立つ経験によって自信を持たせたと同時に、実習生の理解が深まっていた。
4. TA の補助により、発表会が流暢に展開され、実習生の意欲が伺われた。

【TA 活用上の今後の改善点・課題等】

1. TA の活動は実質的に、4月から実施しているので、4月及び5月の手当が出るように配慮して欲しい
2. 教授者と TA の打ち合わせ時間はかなり必要であることから、TA の仕事としての内容はできるだけ簡単平易なことにした方がよい。
3. 依頼した今回の TA は1週間のスケジュールが複雑で十分な話し合いや、実習後の検討の時間が少なかった。
4. 本実習は後学期の開講科目であるが、耐震工事で実習室が使用できないため、急遽前学期に移行措置をした。しかし、5時限目しか空きコマがなく受講生が極めて少なかった。
5. 本来ならば、前学期1人、後学期1人の予定でTAを要求してきたが、今回は次の理由により2人となった。

平成20年度 TA 活動報告書

TA	1 回生	教科教育専攻	保健体育専修
TA 採用教員名	杉山 允宏		
TA 採用授業科目名	体育測定学・体力測定評価		
採用延べ時間数	授業科目 A : 20 時間、 授業科目 B : 時間		

【TA 活用内容】

1. 各測定の記録用紙の作成
2. 測定器具の測定前後の点検と収納
3. 各測定時における補助と学生への助言
4. レポート作成のためのデータ入力と学生への助言
5. 実習報告書のとりまとめと学生への助言
6. プレゼンテーションのための、器機の準備と発表時の取り扱い
7. プレゼンテーション後、教授者指摘後の内容を修正した報告書の再作成

【TA 活用による教育的効果】

1. 実習生への助言が測定時のデータ採集の精度を高めた。
2. TA の測定実習経験を通じた全体的な受講生への助言が、測定の効率を高めた。
3. TA に受講生への説明機会を与え、TA の講義経験を深めると同時に、実習生とのコミュニケーションによる相互理解が高まった。
4. TA による測定記録の入力は重要で、受講生への返却時間が迅速であり、効率が高かった。
5. TA の補助により、発表会が流暢に展開され、実習生の意欲が伺われた。

【TA 活用上の今後の改善点・課題等】

1. TA の活動は実質的に、4月から始まっているので、遡って手当を至急できるように配慮して欲しい
2. 測定の資料は膨大であり、これらを入力する作業は極めて重要である。従来は受講生個々に任せていたが、入力ミスが多発し、正確な図表作成が困難なことやデータの解釈が異なってくることから、TA にまとめて作成させたことは有用であった。
3. 山越えグラウンドでの測定は雨天時に不可能であり、今回雨天が続き困難であった。
4. 受講生のスポーツ大会参加で測定ができない日が多く、データ回収に困難をきたした。その上、振替授業に変更されたり、祝祭日とぶつかったりして大変効率が悪かった。